

11月15日（金）

本日は午前中に広島大学附属幼稚園を訪問し、午後から広島大学国際協力研究科の三輪千明先生による幼児教育に関する講義がありました。

午前中の幼稚園見学では、最初に園の紹介や研究についての説明があり、その後、園の様子を見学しました。森の日とグローバルデーだったため、森の中で料理のまねごとをしたり遊んだりする姿や、英語を学ぶ子どもたちの姿が見られました。研修生は子どもたちの自由な様子を見て、自国との違いに大変興味をもった様子でした。最後の質疑応答では、研究校としての取り組みや開園時間についての質問がされました。



リフレクションでは、広島大学附属幼稚園の生活において、様々な危険がある中で子どもたちをどこまで自由にさせるかという点について議論が交わされました。

午後の三輪先生の講義では、保育と教育の違いについての話から始まり、幼児教育の重要性や効果について話されました。研修員は、自国での幼児教育の課題を考える場面で、技術をもった教員の不足や教室の数、高い入園料等、数多くの問題点をあげていました。そして、講義最後に流された日本の幼稚園の運動会のビデオに研修員は高い関心をもったようでした。

